

第3章

強い農業の創造に向けた取組

宿根かすみそうで地域農業を守る

しょうむらしんきのうぎょうさんにゆうすいしんきょうぎかい ふくしまけんしょうむら
昭和村新規農業参入推進協議会〔福島県昭和村〕

【工夫のポイント】

- かすみの学校の開設（2017年開設）
 就農希望者等を対象に宿根かすみそう栽培研修を行うため、「かすみの学校」を開設。最短で1日から参加できる。本格的な1年間の研修の呼び水になっている。具体的に就農を検討する研修生に対しては、指導農家が研修後に就農1年目まで指導を継続。
- 積極的なPR活動
 東京等で開催される新・農業人フェア等の出展、パンフレットの作成等のPR活動を展開。
- 雪室を利用した有利販売による就農者支援
 生産者からJAに出荷された宿根かすみそうは、雪室（雪中貯蔵）を活用して鮮度を保持し、市場価値を高めて他地域より高値で販売。就農者の安定した収入確保に寄与。



パイプハウスの設置作業



収穫作業



JA職員による説明

【取組と成果】

- 新規就農者、研修生への多様な支援
 国の支援の他に、村役場は農地の斡旋や住宅家賃、農地賃貸料等を補助。経営・技術は普及所、営農資金・販路確保はJA、農地は農業委員会などと組織内で協力しサポート。「かすみの学校」も運営。
- 新規参入者の声
 インターネットで「かすみの学校」を知った。本学校での経験から、周囲のバックアップ体制がしっかりしていると感じた。就農にあたり、研修先や地域の生産者等の紹介により、機械や資材を譲り受けられる等、地域の方々のサポートも大きいと感じた。
- これらにより、平成22年度から令和元年度までの新規就農者数のうち離農者数は0人と、他地域にない高い定着率に寄与。高齢化で引退者が増える中、宿根かすみそうの産地を維持。

昭和村の宿根かすみそう栽培の新規参入者等の状況

(年度)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R.1	計
新規就農者数	1	1	3	0	0	1	1	2	2	3	14
うち離農者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(参考)農家数	-	-	-	-	52	52	53	53	56	57	-

【昭和村新規農業参入推進協議会の概要】

- 設立 平成15年度
- 構成機関 村、農業委員会、JA、生産団体、県（普及所）
- 取り組みのきっかけ
 農家の高齢化、減少により地域農業の崩壊が懸念されたため、平成15年度に「昭和村新規農業参入推進協議会」を立上げ。村と地域の関係機関が協力して、新規就農者、研修生に対し技術支援、農用地の斡旋、補助事業等を実施。

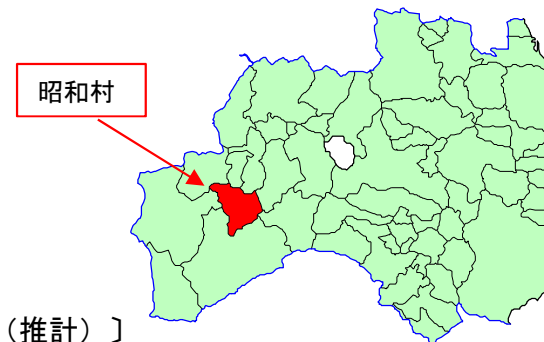
【取組地域の概要】

- 福島県大沼郡昭和村

- 主要作物（農業産出額）
 花き（3.7億円）
 米（2.1億円）
 野菜（0.2億円）

〔平成30年市町村別農業産出額（推計）〕

福島県



地域で育てた新規就農者が地域農業の担い手に

ちいぎていじゅうのうぎょうしゃいくせい

やまがたけんしょうないちいき

地域定住農業者育成コンソーシアム〔山形県庄内地域〕

【工夫のポイント】

- 地域で連携してサポート
コンソーシアム構成員が連携して、就農希望者を多方面から支援する体制を庄内全域に作り、地域定住に繋げている。
- 実践力を育成する講座事業
山形大学の協力を得て「食と農のビジネス塾」や「農業スタートアップ塾」を開講し、販売力強化やビジネス計画書の作成を学ぶ。
- 繋がりを切らさずに支援
定期的な交流やメルマガ配信、就農・自立化相談などで、長期にわたり支援を継続して実施。



座学の様子



販売実習

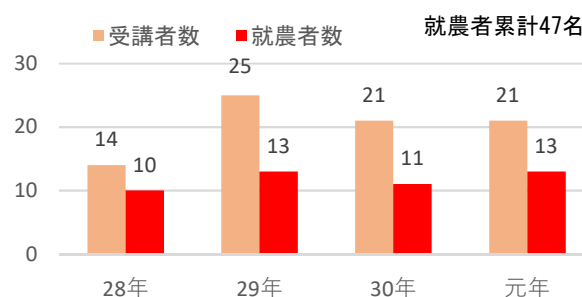


よろず相談

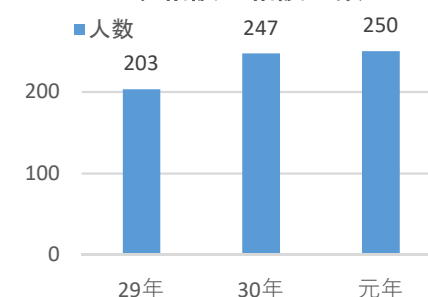
【取組と成果】

- 構成員が連携して実施する、住宅・機械支援、資金・販売支援、農地支援など地域定住へと繋げる取り組みに加え、山形大学と連携して実施するプロ農業者の育成に向けた研修指導の取組により、食と農のビジネス塾修了生の半数以上が毎年新規就農し、47名が地域農業の担い手となり活躍。
- 専門技術者などが対応にあたる、就農・自立化相談や様々な障害の克服を支援する「よろず相談」が広く活用されており、新規就農者の定着やセーフティネットとしての役割を果たす。

ビジネス塾の受講者数と就農者数



よろず相談の相談人数



【コンソーシアムの概要】

- 設立 平成28年4月
- 構成員
域内自治体（鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町）、域内JA（5団体）、山形大学農学部、鶴岡商工会議所、出羽商工会、庄内銀行、鶴岡信用金庫、庄内総合支庁農業振興課・農業技術普及課、日本政策金融公庫山形支店、団体・個人会員。
- 取組のきっかけ
農業を志す青年等の自立（経営感覚の優れた担い手）と経営力・技術力強化に向け、総合的・継続的に支え地域定住に繋げるとともに、地域農業・経済の維持・発展を目的とし発足。

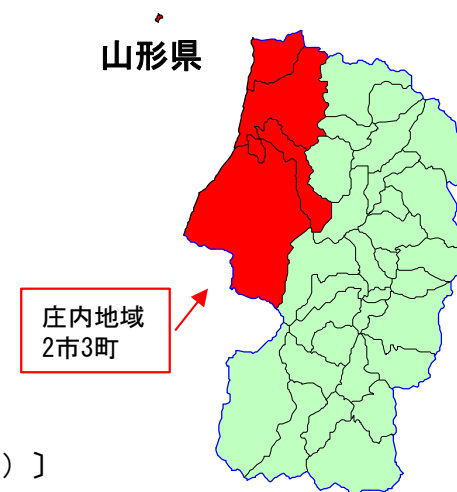
【取組地域の概要】

●山形県庄内地域（2市3町）

- 2市3町（農業産出額）
合計（705.4億円）
- 主要作物（農業産出額）
米（338.4億円）
野菜（207.9億円）
豚（65.5億円）

〔平成30年市町村別農業産出額（推計）〕

山形県



庄内地域
2市3町

大規模ブロックローテーションで高い大豆単収を実現

のうじくみあいほうじんこわくび

あきたけん だいせんし

農事組合法人強首ファーム〔秋田県大仙市〕

【工夫のポイント】

○ブロックローテーションの確立

1 ha区画に整理されたほ場を団地化し、大豆3年－水稻3年のブロックローテーションにより計画的な栽培を実施。

○ほ場の排水性改善

強粘質で排水性が悪く、畑作物には不適な土壌条件であったため、基盤整備による暗渠排水の設置と大規模連坦団地により、ほ場の地下水位の低下を図り、さらに、大豆ほ場には、毎年弾丸暗渠を施工し排水性を強化。

○耕起から播種、除草、中耕・培土、病害虫防除、収穫まですべて機械化一貫体系。



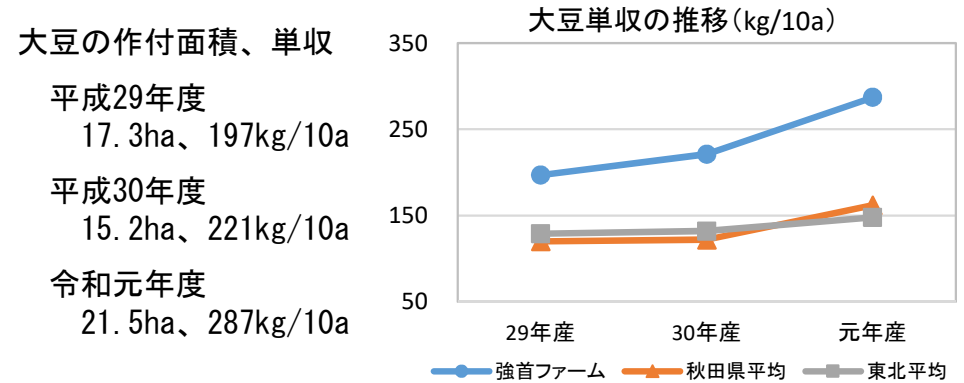
大区画ほ場での追肥作業

【取組と成果】

○過去3年間の平均単収は235kg/10 a と安定した単収を実現。(H29～R元年)

○ほ場の大区画化と団地化に加え、機械化一貫体系により、大豆作での労働時間は4.0時間/10 a (R元年) となり、大幅な省力化に成功。

(参考：H30年東北の大豆作労働時間(個別経営) 8.2時間/10a)



【経営の概要】

○設立 平成21年4月

○代表者 代表理事 小山田 和人 氏

○構成農家戸数 24戸

○主な栽培品目及び面積(令和元年度)

大豆21.5ha、水稻30.9ha、園芸品目3.8ha(枝豆、はくさい、キャベツ等)

○取組のきっかけ

基盤整備事業を契機に、既存集落営農組合を母体とした、農事組合法人強首ファームを設立し、大区画ほ場を活かした、水稻・大豆のブロックローテーションを展開。

【取組地域の概要】

秋田県

●秋田県大仙市

○主要作物(農業産出額)

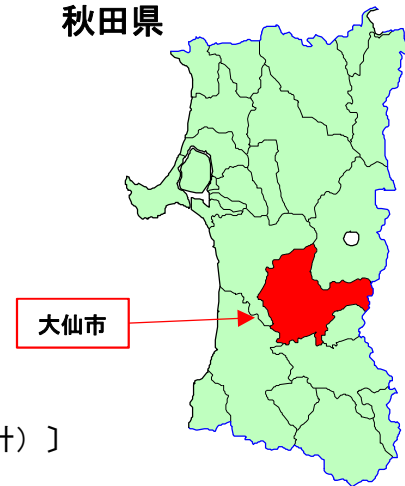
米 (153.0億円)

野菜 (39.4億円)

豚 (20.3億円)

肉用牛 (7.4億円)

豆類 (2.7億円)



[平成30年市町村別農業産出額(推計)]

ブロックローテーションと排水対策による高品質・高単収の大豆栽培

のうじくみあいほうじんとおの のうさん いわてけん とおのし
農事組合法人遠野こがらせ農産〔岩手県遠野市〕

【工夫のポイント】

- 作付けほ場を団地化し、水稻2年—大豆1年のブロックローテーションを基本とし、数年先までブロックごとの作付計画を立てることで、次作を意識したほ場管理を実施。
- 明渠による地表排水の徹底等により、排水条件の良好なほ場を拡大。また、生育初期の湿害回避のため「小畦立て播種技術」（岩手県農業研究センター開発）を導入、さらに、独自に播種機を改良し、ブロックローテーションの水稻後作で大きな土塊になりやすい粘質土壌のほ場での畦立て作業を容易にしている。
- 単収向上に向け、大粒・多収の新品種「シュウリュウ」を地域内で先駆けて導入し、特徴を把握した適期作業を実施。



ほ場巡回の様子



大豆育成中のほ場



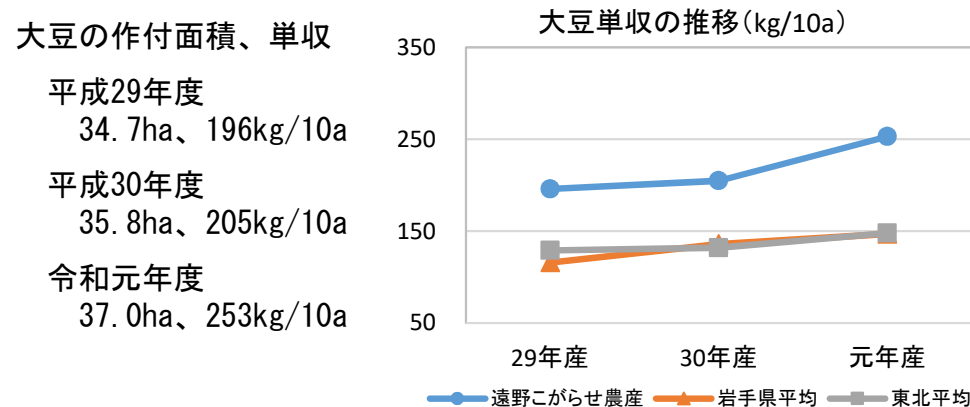
収穫前のほ場

【経営の概要】

- 設立 平成25年11月
- 代表者 代表理事 立花 利夫 氏
- 構成農家戸数 185戸
- 主な栽培品目及び面積（令和元年度）
大豆37.0ha、水稻99.8ha、飼料作物7.6ha、ピーマン0.4ha
- 取組のきっかけ
平成14年度に基盤整備事業を契機に設立された、農地利用調整組織「土淵地区営農組合」と担い手生産組織「こがらせ会」を始点とし、平成25年度には、組織の強化を図るため法人化し、農事組合法人「遠野こがらせ農産」を設立。

【取組と成果】

- 過去3年間の平均単収は222kg/10a、各年度とも県平均を大幅に上回る安定した単収を実現（H29～R元年）。
- ほ場の大区画化と団地化に加え、オペレーター専任による機械作業等により、大豆作での労働時間は4.0時間/10a（R元年）と大幅な省力化に成功。
（参考：H30年東北の大豆作労働時間（個別経営）8.2時間/10a）



【取組地域の概要】

- 岩手県遠野市
- 主要作物（農業産出額）
米（20.0億円）
肉用牛（19.1億円）
野菜（10.7億円）
乳用牛（9.0億円）
豆類（0.3億円）

岩手県



〔平成30年市町村別農業産出額（推計）〕